

## 総務部 総括

### 全般 / 指定管理業務について

平成 21 年度は、国においては政権交代という劇的とも言える出来事があり、多くの国民は閉塞した政治・経済に変化を求め、政権の中核である民主党に期待した。

しかしながら、政権公約の多くが実行されず、また、形を変えたものに移行して行き、政治倫理問題も相俟って、ますます閉塞感を打破できずにいる。

このような社会状況ではあったが、公社においては創意工夫をして、様々な事業を実施して、利用者の皆様からは高い評価を頂くことが出来た。

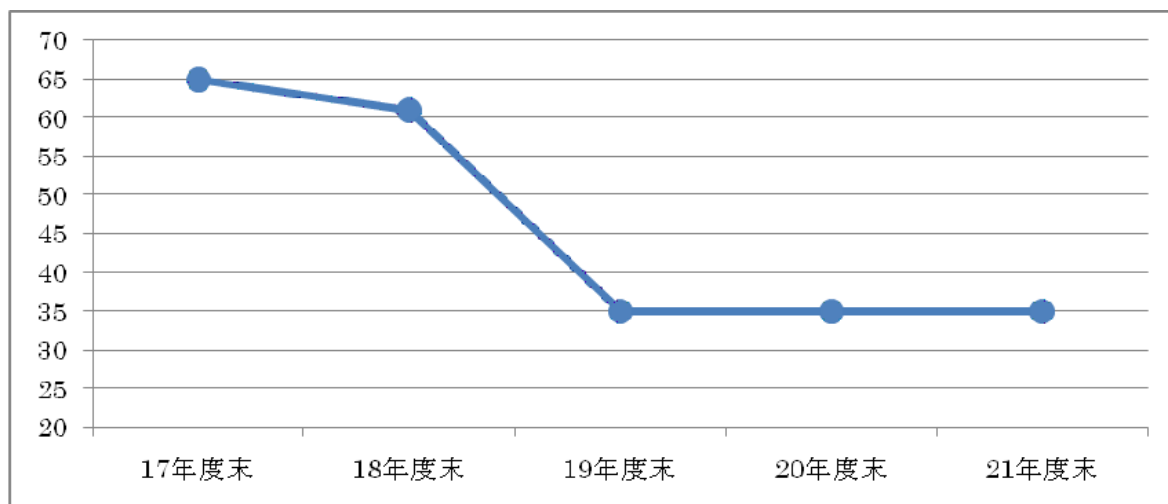
また、公社にとって最重要事案であった第二期指定管理（平成 22 年度から 4 年間）を紆余曲折はあったものの公社が運営することができ、今後も公社職員一丸となって事業に取り組んで行く所存である。

### 運営体制

今年度から本格的に運用した人事評価制度は各職員の理解度も上がり、個々のレベルアップにも繋がった。当公社は、公社固有職員体制への移行を進めているが、中核職員は市派遣職員 3 名、プロパー職員 3 名で嘱託職員や臨時職員をリードし業務に取り組んでいる。

また、公益法人改革のため、講習会参加や資料収集を行ったものの、限られた職員の業務となったため、来年度は組織のあり方を研究し総務部の職員だけでなく、事業部の中核をなす職員も含めた体制を検討したい。

## [ 職員数 ]



	17年度末	18年度末	19年度末	20年度末	21年度末
公社職員	59	61	35	35	35
市派遣	8	6	4	3	3
プロパー	5	7	3	3	3
専任	-	-	1	2	2
嘱託	9	10	10	9	9
臨時	37	38	17	18	18
人材派遣	6	6	-	-	-
合計	65	61	35	35	35

- ・平成 17 年 4 月 図書館カウンター業務の受託廃止
- ・平成 18 年 4 月 第 1 期指定管理（1 年目）人材派遣を廃止、すべて公社職員で運営
- ・平成 19 年 3 月末 指定管理期間満了により正助ふるさと村部廃止
- ・平成 19 年 4 月 第 1 期指定管理（2 年目）新人事管理システム運用開始
- ・平成 20 年 4 月 第 1 期指定管理（3 年目）新人事管理システム試行
- ・平成 20 年 4 月 第 1 期指定管理（4 年目）新人事管理システム施行

## 財政運営

現在、実施している「新会計システム」は各部門の管理運営を円滑なものになっている大きな要因と言える。今後はこのシステムを活用し、平成 22 年度からの第二期指定管理者として相応しい事業展開を図って行く。

第二期指定管理費が第一期より減額となった為、今後も、運営状況の適切かつスピーディーな把握と情報の共有化に努め、柔軟な対応と指定管理者として安定的な管理運営を遂行しながら、経常経費の圧縮・削減に努める。

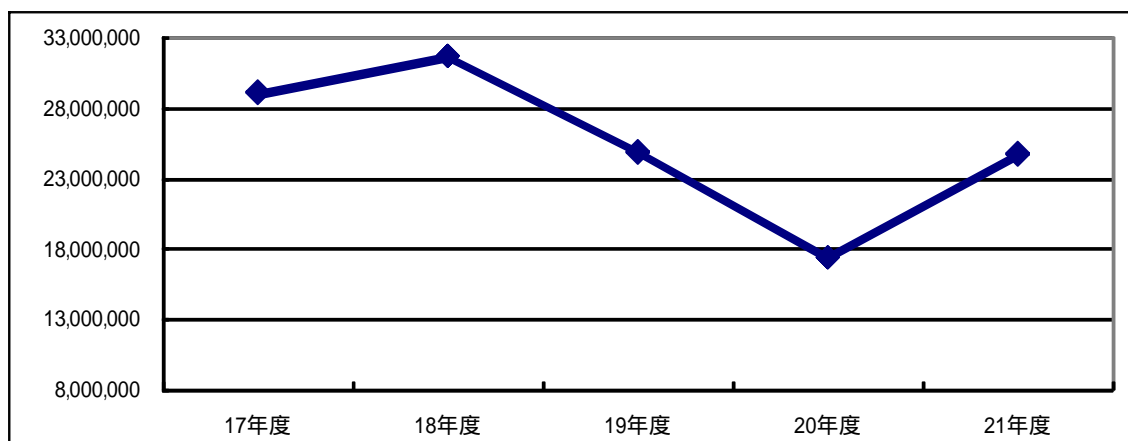
## 施設管理

本年度はお客様が安全、快適に施設を利用できるように本館駐車場周辺の大掛かりな植栽剪定を行った。平成 22 年度も引き続き公園内の剪定作業を進めて行く。また、11 月と 3 月に実施した防災訓練においては、避難放送のマニュアル整備やホールの避難誘導訓練（夜間営業想定）を重点的に実施した。

市が実施している保全工事については、本館東ゾーンの青少年センター跡の改修工事や本館内の空調整備工事や非常用発電施設整備工事が完成し、快適で安心な施設運営が行われている。

また、視聴覚室を全面改装して市民ギャラリーとする工事も、急な工事ではあったが今年度内に完成することが出来た。そのうえ、ここ数年来の悲願であったプラネタリウムのリニューアル計画が実行されることとなり、市の選定委員会で投影機の機種が決定された。

### [ 修繕状況 ]



	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
修繕発生件数	125	162	131	113	104
修繕コスト	28,966,017	31,560,776	24,796,827	17,266,555	24,594,145

### [ 主な改修・修繕（公社実施） ]

1	舞台吊物設備滑車及び絞り緞帳修繕工事
2	大ホールフロアシート巻取り機修繕工事
3	南ゾーン公園内法面及び歩道修繕工事
4	ホワイエ床タイルカーペット修繕工事

### [ 市保全改修事業・第七期（宗像市実施） ]

1	青少年センター跡改修工事
2	本館空調設備整備工事
3	本館非常用発電施設整備工事
4	市民ギャラリー整備工事